

平成22年8月23日

第4回独立行政法人農林漁業信用基金
支出点検プロジェクトチーム議事概要

1. 日 時：平成22年7月22日（木）10：00～

2. 場 所：独立行政法人農林漁業信用基金第1会議室

3. 議事概要：

- (1) 独立行政法人農林漁業信用基金支出点検プロジェクトチーム平成21年度取組目標に係る取組状況について報告した。
- (2) 独立行政法人農林漁業信用基金支出点検プロジェクトチーム設置規程第2条第2項の規定に基づき、平成22年度取組目標の設定について検討した。

4. 資 料

独立行政法人農林漁業信用基金支出点検プロジェクトチーム平成22年度取組目標（別紙）

(別紙)

独立行政法人農林漁業信用基金支出点検プロジェクトチーム
平成22年度取組目標

1. 平成22年度における支出の無駄削減

平成22年度における支出の無駄削減のため、以下の取組を実施する。

(1) 随意契約の見直し

○ 契約は、原則として一般競争入札等（競争入札及び企画競争・公募）の競争性の高い契約方式によるものとする。なお、一社応札・一社応募の動向について精査を行う。

(2) 出張経費

○ 割引制度の適用が無い、日程が直前まで定まらない等の事情がある場合を除き、パック商品又は割引運賃等を利用することにより、出張旅費の効率化を図る。

(3) タクシー代

○ タクシー使用については、使用基準に基づき、引き続き適正な執行に努める。

(4) その他

○ 平成21年度に実施し相応の成果を得た定期購読物の見直し、備品の一括調達及びコピーの両面印刷等については、引き続き実施する。

2. 平成23年度に向けての支出の無駄削減

(1) 平成22年度の支出状況の点検

○ 支出の無駄削減に向け、支出状況を半期毎に取りまとめ、点検する。

(2) 平成23年度の支出への反映

○ (1)の支出状況等の点検結果を踏まえ、平成23年度の支出に反映させる。

(3) 外部機関からの指摘に対する対応

○ 会計検査院からの指摘、主務省に設置される独立行政法人評価委員会及び政策評価・独立行政法人評価委員会の指摘事項等については、必要に応じ、平成23年度の支出に反映させる。

3. 一人一人の職員の意識改革

以下の取組を行い、無駄な支出の削減に対する一人一人の職員の意識を高める。

(1) 職員からの提案の募集

○ 「独立行政法人農林漁業信用基金業務改善提案・事務リスク自主点検実施要領」（平成19年12月制定）により、引き続き、職員から経費の節減及び事務処理方法の効率化について提案を募る。

(2) 職員間での意識の醸成

○ 各種会議や職員掲示板への掲示を通じて、本取組目標や職員から提案のあった有効な業務改善について、引き続き周知を図る。

○ OA機器及び照明のこまめなスイッチオフを行うなどエネルギー使用量の抑制に努めることについて、引き続き周知を図る。